

水資源と男女共同参画に関するアンケート

実施概要

担当部局	実施期間	対象者数	回答者数	回答率
水資源・地域プロジェクト課	2017年01月25日から 2017年02月10日まで	1360	870	63%

今回は水資源・地域プロジェクト課と男女共同参画・NPO課からお伺いします。

三重県では、水資源の確保と水道水の供給に関して、県民の皆さんに安心してお使いいただける水を、安定的に供給することに心掛けています。つきましては、今後の施策の参考とするため、水資源に関するアンケートを行います。（Q1からQ5までの5問です。）

また、三重県では、一人ひとりが性別にかかわらず、家庭や地域、職場において、能力と個性を十分に発揮できる「男女共同参画社会の実現」をめざし、さまざまな取組を行っています。「男女共同参画社会の実現」に向けた取組を進めるため、男女共同参画に関するアンケートを行います。（Q6からQ11までの6問です。）

【三重県「男女共同参画」のホームページ】

<http://www.pref.mie.lg.jp/IRIS/HP/>

皆様のご意見をお聞かせください。

■ Q1 水道への接続

はじめに、水資源についてお聞きします。

あなたの現在のお住まいは、水道（市町や民間が設置したもの）に接続されていますか？

合計	870	
接続している	863	99.2%
接続していない	7	0.8%

■ Q2 飲料水の供給元

あなたのご家庭で主にお使いの飲料水（調理用、飲用）を教えてください。

あてはまるものを1つ選んでください。

合計	870	
水道水（浄水器等を通した水道水を含む）	769	88.4%
井戸水などの地下水	11	1.3%
湧き水などの地表水	4	0.5%
ペットボトルなどの市販の水	79	9.1%
その他	7	0.8%

■ Q3 飲料水に求めるもの

あなたがお使いの飲料水に求めるものはどのようなことですか？

あてはまるものをすべて選んでください。

合計	870	
水質の安全性	846	97.2%

味、におい	684	78.6%
日常の安定供給	646	74.3%
地震などの災害時の安定供給	513	59.8%
渇水時における安定供給	394	45.3%
水源の良さ	345	39.7%
名水、ブランド水などの銘柄	31	3.6%
水源や水質などに関する情報	216	24.8%
料金の安さ	448	51.5%
特になし	2	0.2%
その他	1	0.1%

■ Q4 飲料水の満足度（1）

あなたがお使いの飲料水は、安定的に供給され、安心して使えますか？
あてはまるものを1つ選んでください。（満足度としてお答えください。）

合計	870	
満足	470	54.0%
どちらかと言えば満足	322	37.0%
どちらともいえない	39	4.5%
どちらかと言えば不満	34	3.9%
不満	3	0.3%
わからない	2	0.2%

■ Q6 男女平等について（社会全体）

ここからは、男女共同参画についてお聞きします。

あなたは、社会全体（※）で、男女の地位が平等になっていると思いますか。次の中から1つ選んでください。

※家庭、地域、会社をはじめとするさまざまな場面をお考えください。

合計	870	
男性の方が非常に優遇されている	65	7.5%
どちらかといえば男性の方が優遇されている	427	49.1%
平等である	192	22.1%
どちらかといえば女性の方が優遇されている	66	7.6%
女性の方が非常に優遇されている	13	1.5%
わからない	107	12.3%

■ Q8 「男は仕事、女は家庭」という考え方について

あなたは、「男は仕事、女は家庭」という考え方について、どう思いますか。次の中から1つ選んで下さい。

合計	870	
同感する（＝「男は仕事、女は家庭」という考え方に賛成）	42	4.8%
どちらかといえば同感する	280	32.2%
どちらかといえば同感しない	246	28.3%
同感しない（＝「男は仕事、女は家庭」という考え方に反対）	238	27.4%
わからない	64	7.4%

■ Q9 男女共同参画の推進について

今後、男女共同参画を推進していくためには、どのようなことが必要だと思いますか。次の中から2つまで選んでください。

合計	870	
女性の意識改革	229	26.3%
男性の意識改革	416	47.8%
女性の家事・育児の負担軽減	210	24.1%
男性の家事・育児への参画	254	29.2%
長時間労働の是正	276	31.7%
女性が自らの能力を高める機会の提供	95	10.9%
女性の参画を進める必要はない	24	2.8%
わからない	27	3.1%
その他	45	5.2%

■ Q10 女性の働き方について（考え方）

あなたは、女性が働くことについて、どのようにお考えですか。次の中から1つ選んでください。

合計	870	
結婚するまでは働くが、その後は働かない方がよい	10	1.1%
結婚して子どもができるまでは働くが、その後は働かない方がよい	40	4.6%
結婚や子育てなどで一時的にやめるが、子育ての時期が過ぎたら再び働く方がよい	477	54.8%
結婚して子どもが生まれた後も、働き続ける方がよい	208	23.9%

一生働かない方がよい	0	0.0%
わからない	45	5.2%
その他	90	10.3%

■ Q11 女性の働き方について（理由）

Q10で「結婚や子育てなどで一時的にやめるが、子育ての時期が過ぎたら再び働く方がよい」を選択された方にお尋ねします。なぜ、そのように考えますか。

次の中から1つ選んでください。

合計	477	
配偶者の協力や理解が得られそうにないから （協力できないから）	11	2.3%
職場における育休制度等の支援制度が不十分だから （勤務時間も含め、仕事と育児を両立できないから）	100	21.0%
収入面で不安がなく、子どもが幼いうちは無理をして働く必要がないから	29	6.1%
保育園などの子どもの預け先がないから（保育環境が整っていないから）	18	3.8%
子どもが幼いうちは育児に専念したいから （専念した方がよいから）	296	62.1%
結婚や出産を機に退職する慣行があるから	6	1.3%
その他	17	3.6%